

令和2年度

# 南養護学校 学校だより

№2

令和2年6月3日

## 「愛と正義あふれる学校」を目指して

校長 伊藤 克実

日頃より皆様には、子どもたちの登下校をはじめ学校内外の教育活動に対して、多大なるお力添えをいただきまして誠にありがとうございます。子どもたちが、毎日楽しく安心して学校生活を送ることができますのも、皆様方のお陰と厚く感謝申し上げます。

さて、令和2年度が始まりました。本年度は、本校（中学部49名、高等部244名、訪問教育学級1名）、分校（小学部76名）を合わせて370名の子どもたちが在籍することとなりました。子どもたち一人一人が“きらり”と輝く姿を発揮できるよう、気持ちも新たに、職員一同力を合わせて教育活動に取り組んでまいります。

私は常々、「学校は『愛』と『正義』にあふれた場でなくてはならない」と考えています。「未来を担う大切な子どもたちの成長の場として、学校は人と人との関わりの中で正しく温かみをもった集団活動の場でありたい」ということです。

『愛』とは、「仲間や集団を愛する気持ちを育むこと」です。生涯を通して育みたい「愛」には、親子の愛・家族の愛・教師と児童生徒の愛・友情・仲間意識・地域への愛などがあります。学校は教育活動の中で教師と児童生徒の愛・友情・仲間意識・地域への愛を育む場であると考えます。学校が温かみを感じる場となり、子どもたちに「愛」の象徴である笑顔があふれ、周りを取り巻く職員・保護者・地域の人々にも笑顔の花が咲けば、最高の学校です。

『正義』とは「正しく判断したことをきちんと示す勇気を育むこと」です。学校では、子どもたちを見守り育む職員・保護者・地域の人々が「正義」を示す最も身近なモデルとなる“正義の味方”として、子どもたちの心に光をともしたいと考えます。

“正義の味方”に見守られ、子どもたちが勇気をもって「正義」を示すことができるようになれば、安心して過ごせる学校となります。

そういった願いを基に、裏面のようなグランドデザインを掲げました。子どもたちを見守る皆様が、それぞれのお立場で『愛』と『正義』にあふれた場の実現に向けて、力を合わせていただきますよう、どうぞよろしく願いいたします。

学校教育目標

一人一人のよさを伸ばし、たくましく生きる力を育てる

## 一人一人の“きらり”と輝く姿

授業づくり

集団づくり

自分づくり

新しいことを「知る」「分かる」「できる」喜び

互いのつながりを感じ合う喜び

健康で丈夫な心身をつくる喜び

## 愛と正義あふれる学校

### 重点目標

#### 〈訪問教育〉

身の回りへの興味・関心を育み、友達とのつながりの中で、活動を通して自分の世界を広げよう。

#### 〈小学部〉

身の回りのことに興味・関心を広げ、自分でできることを増やし、身近な人との関わりの中で元気いっぱいな学校生活を送ろう。

個別の教育支援計画・個別の指導計画

#### 〈中学部〉

経験を大切にして、何事も進んで挑戦し、いろいろな人との関わりの中で、心も体も伸びやかに学校生活を送ろう。

#### 〈高等部〉

卒業後の自立と社会参加に必要な知識と技能を身に付け、社会との関わりの中で、心も体も健やかな学校生活を送ろう。